どうしたらできるの？

南国市の事例を参考に市町村（学校設置者）、学校、生産出荷団体等が話しあってみましょう。

↓

市町村（学校設置者）と生産出荷団体等が家庭用電気炊飯器を活用した米飯給食の回数増加、地元産米の使用のモデル校計画を立てましょう。

↓

生産出荷団体等から家庭用電気炊飯器購入費用の助成を国に申請しましょう。

↓

採択されたら、モデル校に生産出荷団体等が必要な炊飯器を無償貸与します。

（注1） 電気工事は学校設置者の負担となります。
（注2） 6月8日～29日に事業実施主体の公募を行います。予算枠がいっぱいになり次第締め切ります。

〇お問い合わせ先〇

〇各農政局・農政事務所食糧部消費流通課
TEL 〇〇〇-〇〇〇 -〇〇〇〇

〇農林水産省総合食料局食糧部消費流通課流通加工対策室
TEL 03 -6744 -2081

平成21年6月8日

学校給食関係者の皆様へ

家庭用電気炊飯器で米飯給食を増やそう!

～炊き立てのごはんで子供たちにもっと笑顔を!～

（「経済危機対策」予算によりご利用いただけます。）

米飯学校給食回数増加支援事業

農林水産省

高知県南国市の取組みが大変喜ばれています。

南国市では、学校に家庭用電気炊飯器を導入し、炊きたてであたたかいごはんを提供しています。

○ホカホカの炊きたてごはんに子供たちは大喜び。
食べ残しがなくなりました。

・炊きたてでごはんおいしいね。
・大盛りにして。
・毎日ごはんがいいな。

子供たちの声

○お米ってどうやって作るのかな？とごはん対する関心が深まりました。

・お米ってどうやって作っているの？見たい！
・農家の人がすごく苦労して作っているから、残さず食べるよ。

○実験では、大釜より調理員の皆さんの作業が楽でした。

・給食を喜んで食べてくれ、食べ残しがなくなって、嬉しいわ。
・大釜のようにクラスごとに分ける必要がないわ。
・電気炊飯器の内釜はごはんがこびりつかず手早く洗えるわ。

調理員さんの声

○作ったお米を子供たちが給食で食べてくれて、やりがいを感じています。

・子供たちが喜んでくれてうれしいよ。
・「子供たちの給食を作っているんだ」というやりがいを感じるよ。
・地元で作った米をもっと地元のみんなに食べてもらいたいな。

生産者の皆さんの声

週5回の米飯給食が実現されました。

皆様も取り組んでみませんか？

このような助成を行います。

家庭用電気炊飯器購入費用を助成します。

米飯学校給食の推進と地元産米等の利用拡大を目的とし、家庭用電気炊飯器（家庭用ガス炊飯器で持ち運び可能なものも含む。以下同じ。）を小中学校で使用し、米飯学校給食の実施回数を増加させる具体的な計画を有し、地元産米等の使用に努める取組について支援を行います。

助成を受けられるのは、①生産出荷団体または②生産出荷団体と学校設置者（市町村）が構成員となっている団体が、小中学校と協力し、家庭用電気炊飯器を小中学校へ無償貸与し、米飯学校給食実施回数の増加を図ろうとする場合です。
（注1）上記①の生産出荷団体とはJA、農事組合法人、農業生産法人などです。
また、上記②の団体には地域水田農業推進協議会なども含まれます。

事業を実施頂く団体を募集します。

・モデル校で必要な台数すべてが対象！
・家庭用電気炊飯器1台について、20,000円を上限に助成！
・延長コードや配膳台など簡単な機器も1校当たり100,000円を上限に助成！

（注2） 電気工事は学校設置者の負担となります。
（注3） ６月８日～29日に事業実施主体の公募を行います。予算枠がいっぱいになり次第締め切ります。

炊飯器を開けると「ファーッ」と立ち上がる湯気と炊きたてごはんの香り。
ふっくらつやつやと白く輝くお米の一粒一粒。私たちは、毎日このほかほか
ごはんの給食を食べています。
「ごはん・お米とわたし」高知県コンクール受賞作品より引用

豆　知　識　：　米飯学校給食の回数増加により地元産米等の需要が増えます。（米飯学校給食を全国で週1回増やせば、約3．3万トンの米の消費が増加します。）